

きせつのことをつたえあおう(小学1年・生活)

() 小学校() 年() 組 氏名()

正月用の縁起物を検品する巫女

＝27日、霧島市の霧島神宮



近づく「巳」準備着々 霧島神宮

霧島市の霧島神宮で、新年を迎える準備が本格化している。27日は巫女3人が来年の干支「巳」の絵馬や置物、破魔矢などの縁起物を一つ一つ手に取り検品、仕分けする作業に追われた。

お守り32種類15万本、破魔矢1万2千本、熊手7千本などを用意。作業は26日から始まり、年明け後も続く。10人の巫女が交代で、迎春の準備を整える。巫女1年目の中村櫻華さん(19)は「参拝者が幸せな気持ちで気持ちよく新年を迎えられるよう心を込めた」と話した。

神宮によると、来年の三が日の人出は今年並みの約26万人と予想。混雑回避のため分散参拝を呼びかけており、縁起物は12月1日から来年2月末まで各授与所で取り扱う。

【問1】 来年のえとはなんでしょう。

【問2】 じんじゃにおかれているえんぎものはなにがあるでしょう。一つかきましょう。

【問3】 じんじゃでえんぎものをしらべたり、しわけしたりするさぎょうをしていたのはだれでしょう。

【問4】 えんぎものはいつからいつまでじんじゃにあるのでしょうか。

【かんがえてみよう】 えとについてしらべよう。

むずかしい漢字とことば

霧島市(きりしま・し) 神宮(じんぐう) 新年(しんねん) 迎(むか)える 準備(じゅんび) 本格化(ほんかくか) 来年(らいねん) 絵馬(えま) 置物(おきもの) 破魔矢(はまや) 縁起物(えんぎもの) 取(とり) 検品(けんぴん)＝品物にもんだいがないかしらべること。 仕分(しわけ) 作業(さぎょう) 追(お)われ お守(まもり) 種類(しゅるい) 万体(まんたい) 熊手(くまで) 用意(ようい) 始(は)まり 年明(としあ)け 続(つづ)く 交代(こうたい) 迎春(げいしゅん) 整(ととの)える 参拝者(さんばいしゃ) 幸(しあわ)せ 気持(きもち) 信念(しんねん) 心(こころ) 込(こ)める 話(は)なし 今年並(ことしな)み 約(やく)＝おおよそ。だいたい。 予想(よそう) 混雑(こんざつ) 回避(かいひ)＝ふつごうなことがおきないようにすること。 分散(ぶんさん) 各(かく) 授与所(じゅよしょ) 扱(あつかう)

